

# 研究紹介

## 人権教育

### 人権尊重の意識を高め、子ども一人一人を大切に する教育の推進と校長の役割

一人一人を大切に  
する実践的な態度を育てる人権教育

光市立上島田小学校長

清水茂雄



#### はじめに

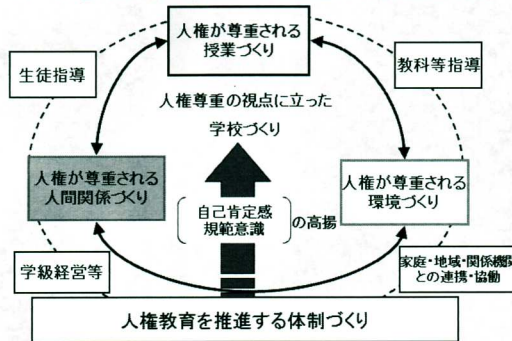
本市には十二の小学校があり、各校には様々な課題がある。しかし、その課題の解決に向けては、学校における人権教育が重要な役割を担っている。

そこで、光市小学校長会では、各校において人権教育の推進を学校経営方針や重点目標等に位置づけて、研究を進めてきた。

#### 二 研究の概要

本市校長会では、教師と児童への人権に係るアンケート調査をもとに、規範意識や自己肯定感を高めながら「一人一人を大切に  
する実践的な態度を育てる人権教育」をテーマに掲げ、研究に取り組んできた。そこで、下の構想図のように、人権教育を推進する体制づくりを基盤として、人権が尊重される授業づくり・人間関係づくり・環境づくりの教育活動を通して、児童の自己肯定感や規範意識を高めながら、人権尊重の視点に立った学校づくりが必要であると考えて実践をしてきた。

### 人権尊重の視点に立った学校づくりの構想 ～一人一人を大切に する実践的な態度を育てる児童の育成～



#### (一) 視点Ⅰ【人権教育を推進する体制づくり】

校長が人権教育を推進するための校内体制づくりに向けて、次の四点にリーダーシップを発揮してきた。

- ア 学校経営方針への位置づけ
- イ 役割の明確化
- ウ 人権教育の振り返り

#### エ 教職員の人権尊重の意識の涵養



教職員の人権教育研修

#### (二) 視点Ⅱ【実践的な態度を育てる教育活動の推進】

児童に実践的な態度を育てるために、次の三点に力を入れて取り組んできた。

- ア 人権が尊重される授業づくり
- イ 人権が尊重される人間関係づくり
- ウ 人権が尊重される環境づくり

#### (三) 視点Ⅲ【家庭・地域・関係機関との連携・協働】

人権尊重の視点に立った学校づくりを充実させるためには、家庭や地域等との連携・協働が不可欠であり、次の三点に力を入れて取

- り組んできた。
- ア 家庭との連携・協働
- イ 地域との連携・協働
- ウ 幼稚園・保育園・中学校との連携・協働

#### 三 校長としての役割

(一) 人権尊重を基盤にした学校づくりの方向性と、人権教育のビジョンを示す。

(二) 学校経営方針や重点目標に人権教育の推進を盛り込み連携・協働できる体制づくりを行う。

(三) 教職員の人権感覚を磨くとともに、家庭・地域・関係機関と連携・協働するネットワークづくりや、人権を尊重した人的・物的環境づくりを行う。

(四) 評価の視点を明確にした教育活動の振り返りを行い、成果と課題を明らかにして改善を図る。

#### 四 おわりに

人権尊重は教育の根幹であり、人権教育は学校経営の柱である。光市では、校長が範となつて人権教育を推し進めてきた。しかし、まだまだ課題が残っている。今後は、本市が進めているコミュニティ・スクールを通して、家庭・地域との連携・協働を深め、さらなる人権教育の充実を図っていききたい。校長として、教職員が互いに啓発し合い、人権感覚を磨き、人権尊重の意識を高める気運を組織力の向上に繋げていくように努めていきたい。